

た か だ こ ら む

メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2017 プラントメンテナンスショーに出展

2017年7月19日（水）～21（金）の3日間、当社は東京ビッグサイトで開催された「メンテナンス・レジリエンスTOKYO 2017 プラントメンテナンスショー」に出展しました。プラントメンテナンスショーは工場の設備管理・保全技術に関する国内唯一の専門展示会であり、会期中の来場者は共催の展示会も含めて約38,000人と会場は大いに賑わいました。

今回、当社ブースでは『世界初 電流による回転機械の状態監視 IoT クラウド対応』をキャッチフレーズに掲げ、電流情報量診断システム T-MCMAの展示に特化し、状態監視保全のツールとしてのT-MCMAの優位性についてプレゼンテーションを1日に7回実施しました。また、T-MCMAのデモンストレーションの映像を流し、1,700名を超えるお客様にご高覧頂き、好評を博しました。

このような機会を通して、お客様のニーズを掴み、それに応えられるような商品と技術サービスをこれからも開発・提供してまいります。

山下 政一郎（技術本部 診断サービス技術部）

<展示品の概要>

電流情報量診断システム T-MCMA	モータ配線の電流信号を計測するだけで、モータを含めた回転機械系の状態を診断（商品を表示）
-----------------------	--



プレゼンテーションの様子



展示の様子